

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 671 号

2017年5月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

## 2017年度アルミ製品需要見通し

416万トン (0.7%プラス)

アルミニウム調査会（軽金属製品協会、日本アルミニウム合金協会、日本サッシ協会、日本アルミニウム協会、日本電線工業会、日本ダイカスト協会、アルミニウムリサイクル協会）は、2017年度のアルミ製品需要をまとめ、前年比0.7%増の4,155,800万トンとした。

**2016年度の概況** 総需要は4,127千トンを見込む。前年度比で1.7%の増加となり、4百万トン超は3年連続となった。しかし過去最高の2006年度に記録

した4,457千トンに比べるとマイナス7.4%。

2016年度は自動車向けの需要が部品輸出を含めて堅調に推移し、前年度比2.6%増加して総需要の増加率1.7%プラスに大きく寄与した。

**2017年度の見通し** 総需要の44%を占める圧延品は缶材が微増、建材が微減、自動車が1.8%の増加。同じく39%を占める鋳造、ダイカスト需要は0.8%増の見通し、全需要は前年度比0.7%の微増とした。総需要は39%を占める自動車向けに期待が寄せられる。

## 2017年度「アルミニウム製品」総需要見通し

アルミニウム調査会（単位：千トン） ▲印はマイナス

製品		年度	平成28年度見込み 2016	平成29年度見通し 2017	対前年度増減率 (%)	
					16/15	17/16
① 圧延品	板類(内自動車)		1,059(162)	1,066(166)	2.1(4.7)	0.7(2.8)
	押出類(内自動車)		766(139)	767(140)	2.4(4.6)	0.2(0.6)
	計(内自動車)		1,824(301)	1,833(306)	2.2(4.6)	0.5(1.8)
② 鋳造品	自動車		401	410	2.9	2.2
	その他		28	28	1.6	0.0
	計		429	438	2.8	2.1
③ ダイカスト品	自動車		863	864	1.9	0.1
	その他		101	102	▲1.8	1.2
	計		964	966	1.5	0.2
④	鋳造品・ダイカスト品 計		1,393	1,404	1.9	0.8
⑤	鍛造品(内自動車)		42(30)	43(30)	1.5(0.3)	0.5(0.1)
⑥	電線		24	25	▲1.5	2.5
⑦	鉄鋼		129	130	1.2	0.6
⑧	粉		10	10	1.0	▲0.2
⑨	その他		45	45	1.5	▲0.2
⑩	輸入		419	428	2.2	2.2
⑪	国内需要 計		3,887	3,917	2.0	0.8
⑫	輸出		240	239	▲3.6	▲0.5
⑬	総需要 計		4,127	4,156	1.7	0.7
⑭	自動車向け 合計		1,595	1,610	2.6	0.9

## 2月生産

アルミ鋳物  
ダイカスト 生産好調

経済産業省がこのほど発表した2017年2月の生産動態調査によれば、アルミニウム鋳物の生産量は前年同月比で7.1%増の36,243トン、アルミニウム・ダイカストは8.4%増の83,337トンだった。

自動車生産の好調や、企業の設備投資の活発化により、鋳物、ダイカストともに7ヶ月連続して前年実績を上回った。

アルミニウム鋳物は、一般機械と輸送機械がともに好調で、両部門とも7ヶ月連続して前年実績を上回った。公共事業や土木建築関連などが含まれるその他は4ヶ月ぶりにプラス転換した。

アルミニウム・ダイカストは、鋳物と同様、自動車生産の好調で主力の自動車が増と7ヶ月連続のプラスを記録した。

二輪車は原付1種や小型二輪車の需要好調を受け、4ヶ月連続のプラスとなった。

一般機械は5ヶ月連続のプラス、電気機械は3ヶ月ぶりに前年実績を上回った。

## 2月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位トン・前年比%)

①アルミ鋳物	36,243	(107.1)
② 一般機械	678	(101.8)
③ 輸送機械	34,583	(107.4)
④ その他	981	(100.3)
⑤アルミ・ダイカスト	83,337	(108.4)
⑥ 一般機械	2,540	(112.4)
⑦ 電気機械	1,438	(104.3)
⑧ 自動車	74,350	(108.7)
⑨ 二輪車	2,364	(105.5)
⑩ その他	2,645	(101.7)

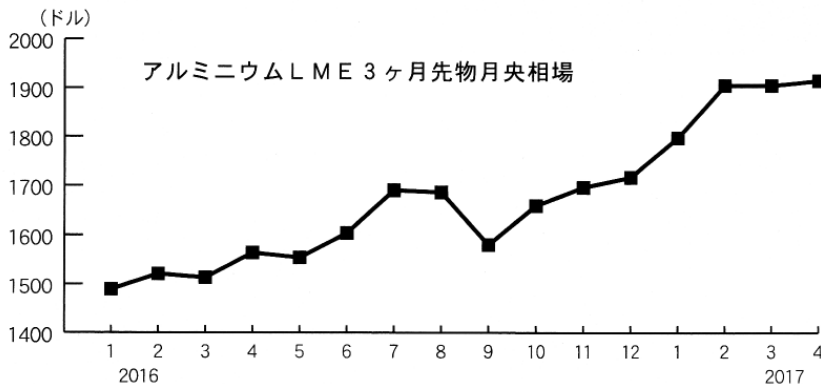
アルミLME相場  
1900ドル台を固める

世界のアルミニウム新地金の相場の指標となるロンドン金属取引所(LME)の3ヶ月先物価格は、2014年12月に2,000ドルを割り、2015年12月には1,400ドル台まで落ち込んだ。

2016年に入って上昇に転じ、年末から急上昇し、本年2月には1,900ドル台をマークした。

長期の価格の低迷から、原価高のメーカーの脱落や減産で需給の改善が進んだと考えられ、LME指定倉庫の在庫も急減している。

世界生産の過半を占める中国の生産動向は明確でないが、アルミニウムの需要は世界的に拡大を続けるものと考えられる。



さわやかな5月の風にのって、鯉のほりが元気に工場の空を泳ぎます。

そして、工場に隣接する矢作川（やはぎがわ）の堤防はすっかり新緑におおわれ、絶好の散策地帯をなりました。

冬の間、伊吹おろしと枯野の殺風景な環境がすっかり一変いたしました。



## 米抜きTPPの行方

### TPPとは

TPP (Trans Pacific Strategic Economic Partnership) は環太平洋経済連携協定あるいは環太平洋パートナーシップ協定と呼ばれ、

オーストラリア ブルネイ カナダ チリ  
日本 マレーシア メキシコ ニュージーランド  
ペルー シンガポール アメリカ  
ベトナム

の12ヶ国が参加して、関税の撤廃、資本・労働の自由化を目指す国際協定を目指して2006年以降、数千

に及ぶ貿易品目の関税撤廃の時期、除外品目などの交渉が継続され、2015年に大筋合意に至った。

12ヶ国で世界全体の国内総生産（GDP）の4割弱を占めると共に、知的財産の保護や投資ルールなど高い水準の通商協定として全世界の注目と大きな期待が集まっていた。

### 米抜きTPP

1月就任のトランプ米大統領は、2国間の貿易交渉を優先すると主張してTPPからの離脱を表明、加盟国に大きな動揺と不安を及ぼした。

参加国12ヶ国の総GDPの65%を占める米国の離脱は、先進国が自由貿易を通じて後進国の発展に力を貸して向上を促す犠牲と努力を払う政策を否定するもので、今後の世界の経済政策の方向を大きく変える可能性がある。

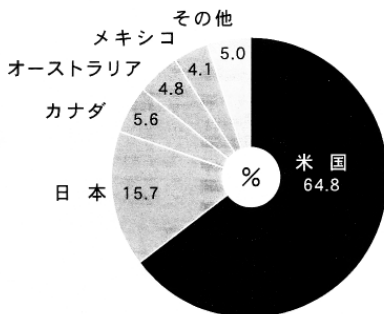
### 日本と今後のTPP

日本政府は11ヶ国が5月はじめにカナダで開く首席交渉官会議で、今までの枠組みを変えない考えを各国に伝え、5月下旬にベトナムで開く閣僚会合につなげたいという。

その後11月のアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議で合意を得たいとしている。

日本はオーストラリア、ニュージーランドと共に、極力内容を変えない方針であるが、反面、米国の離脱で路線修正を考えるベトナム、マレーシアなどがあり、日本の目指す米抜きTPPの前途は明るくない。

TPP参加12カ国のGDP内訳（2015年）



(出所) 世界銀行

## 茶 摘 み

矢作川の下流台地は、水はけよく地味が肥えており茶の木の育成に最適とされている。

新芽は太陽光を遮蔽されておだやかに育ち、手で摘み取られて高級茶に加工される。

西尾茶は抹茶の生産日本一を誇り、例年この季節、「西尾市茶業クラブ」メンバーによる古式豊かな茶摘み行事が行われる。



## 社 内 情 報

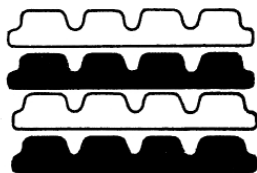
- ◎花壇に植えました名港海運さんご寄贈のチューリップの球根が立派に成長して、例年のように色とりどりの見事な花が咲いています。
- ◎4月末で決算棚卸しを行い、原料納入業者と運送関係の皆さんに大そうご無理をお願い致しました。
- ◎おかげ様で、順調に棚卸しを終わりました。ご協力に厚くお礼を申し上げます。

## 編 集 後 記

- アルミ鋳物、ダイカスト共に好調な生産が続いてご同慶にたえません。高い生産水準の続くことを大いに期待しています。
- アメリカ抜きのTPPでは、日本が唯一の工業国となりました。GDPの圧倒的な大きさから、農業関連の全面開放を覚悟しなければリーダーシップは発揮不能の展開になりました。

## アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

## アスカ工業株式会社

〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町卯新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>